

釜石「鉄のみち」が日本風景街道に登録されました！

釜石地方振興局土木部

国道283号仙人峠から国道45号を経由して釜石遠野線笛吹峠までのルートが、「鉄のみち」として国土交通省が進めている日本風景街道に登録されました。

活動主体は、いわて街道交流会、釜石市、NPO法人いわてNPOセンター、国土交通省三陸国道事務所、釜石地方振興局からなる「釜石鉄のみちネットワーク」で、1月21日にその設立総会が開かれたところです。

今後は釜石の近代製鉄の産業遺産を活用して、道を基軸とした地域活性化や観光振興を進めていきます。

釜石「鉄のみち」

NO.1

TOUHOKU

活動目的

地域団体と連携し、近代製鉄に係る産業遺産とそれを支えた街道景観の保全と地域ツーリズムビジネスの振興により地域の活性化に寄与する。

中心となる道路および活動範囲

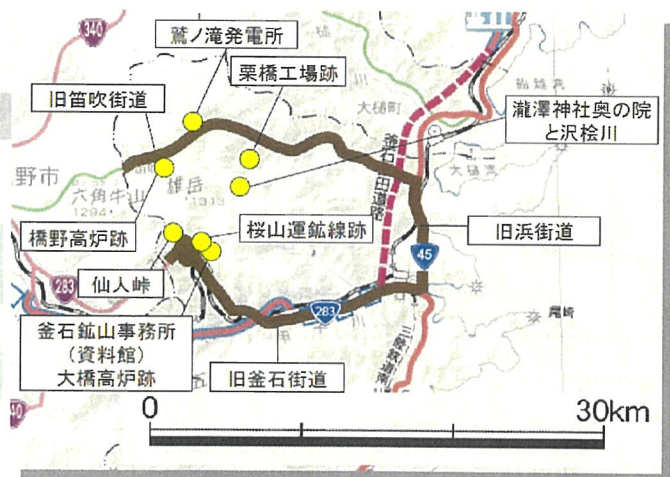
釜石市の国道283号～国道45号～主要地方道遠野釜石線

構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

名称：釜石鉄のみちネットワーク
(代表者：海野 伸)

【道路管理者以外の組織】
いわて街道交流会、釜石市、特定非営利活動法人いわてNPOセンター

【道路管理者】
岩手県釜石地方振興局、国土交通省三陸国道事務所



地域資源

■歴史資源

近代製鉄発祥地釜石鉱山を含む産業遺産群(橋野高炉跡、鷺ノ滝発電所、栗橋工場跡、大橋高炉跡、釜石鉱山事務所(資料館)、桜山運鉱線跡)
旧釜石街道、旧笛吹街道、旧浜街道

■景観資源

瀧澤神社奥の院と沢松川

国土交通省 東北地方整備局 HP
「東北地方の日本風景街道」より
http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/touhoku_fuukeikaidou/index.html



▲釜石鉱山

明治から戦前にかけて名を馳せた日本有数の鉱山である。鉄以外に金・銀・銅・鉛なども産出していたが、平成5年に大規模な鉄鉱石の採掘は、終了している。現在は、研究用の鉄鉱石や鉱泉水などが採られている。



▲橋野高炉跡

万延元年(1860年)頃に完成したとされ、3基の高炉が確認されている。現存する日本最古の洋式高炉跡として、昭和32年には国の文化財(史跡)に指定されている。



設立総会(1/21)の様子

◆設立総会の様子

「釜石の鉄のみちネットワーク」は昨年7月に発足したいわて街道交流会のほか、釜石市、NPO法人いわてNPOセンター、釜石地方振興局、国土交通省三陸国道事務所などで構成されています。県釜石地区合同庁舎で開かれた設立総会には、各団体の代表11人が出席し、今後5年間の活動を見通した事業計画などが決められました。

◆今後の活動計画(案)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容	1 担い手育成 ◎橋野地区&大橋地区の勉強会(2回)	◎地域資源を活かした商品造成ワークショップ	◎地域資源を活かした商品造成 ◎ガイドの育成	→		
	2-1 情報発信強化 ◎情報発信手法検討 ◎案内板の設置準備	◎街道歩き資源マップの作成 ◎協働作業での案内板の設置	3 地域ツーリズムの事業化 ◎予約販売システムの構築 ◎予約開始	◎地域ツーリズムの本格支援体制構築	→	
	4-1 地域資源の保存利活用(鉄のみち探訪会) ○探訪会(1回) ○次年度以降の企画策定	○探訪会の実施(2回)	○探訪会の実施(2回)	○探訪会の実施(2回)	○探訪会の実施(2回)	○探訪会の実施(2回)
	4-2 地域資源の保存利活用(鉄のみち資源調査)	→				
		→				
		→				

◆風景街道の登録方法

日本風景街道は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。

道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした国民的な原風景を創造する運動を促し、観光の振興や地域の活性化に寄与することを目的としています。

平成19年4月20日に日本風景街道戦略会議(委員長:奥田碩日本経済団体連合会名誉会長)より提言された「日本風景街道の実現に向けて」を踏まえ、仕組みや枠組みの構築が図られ、平成19年9月10日(月)より、地方ブロック毎に設置された「風景街道地方協議会」が随時風景街道の募集を受け付け、順次登録を行っています。